

海軍公報

第二千七百六十號

大正十年十二月十五日(木)

海軍大臣官房

○通牒

官房第四一九四號

大正十年十二月十二日

海軍次官 井出謙治

關係各廳長殿

今般達第二百十五號ヲ以テ海軍工務規則第二十八條第六號改正相成候處施行ノ日以前ヨリ引續キ正當ノ理由ナクシテ出業セサル者ニ對シテハ舊規定ヲ適用スル儀ト御承知相成度
右依命通牒ス

官房第四一九五號 大正十年官房第三三八号

特務艦佐多ト内地郵便局トノ間ニ交換致居候閉塞交換ハ今般廢止セラレ候

大正十年十二月十五日

海軍省副官代理

海軍大佐 今村信次郎

經艦第四三四號

大正十年十二月十五日

海軍省經理局主任出納官吏 草谷 俊雄

艦船分任出納官吏殿

豫算現況報告書ニ關スル件

歳入歳出取扱規程第三十八條第二項ニ依ル豫算現況報告書調製上必要ニ付所定ノ書式ニ據リ來ル一月七日迄ニ遲滞ナキ様豫算現況報告書提出相成度
右依命申進ス

○辭令

海軍軍醫中佐 伏島 忠雄

獨國駐在中自今加俸五千二百五十圓ヲ給ス(時海軍省)

○艦船所在

▲印ハハカリヲ指定ナ要セス

○十二月十五日午前十時調

海軍公報 第二千七百六十號 大正十年十二月十五日

一〇八三

0691

【宜昌】 伏見
 【重慶】 鳥羽
 【アール】 ト出雲、八雲

【航海中】

佐多(四日新嘉坡發德山へ)
 宇治(八日漢口發南京へ)
 室戸(十三日佐世保發馬公へ)
 多摩(十四日吳發廣島灣へ)
 春日(十四日鎮海發雄基へ)
 江橋、櫻、桐(十四日佐世保發馬公へ)

○雜款

○特務艦勞山行動豫定

地名	著	發
佐世保		十二年一月八日
吳		十二年一月十日
神戶		十五日
横須賀		二十日
吳		二十七日
		三十一日

長崎	二月二日	二月四日
佐世保	四月四日	十二月八日
吳	四月九日	十二月十八日
神戶	四月十九日	十二月二十二日
横須賀	三月二十四日	三月一日
吳	三月十日	三月八日
長崎	三月十二日	三月十二日
佐世保	三月十四日	三月二十日
馬公	三月二十四日	三月二十八日
高	三月二十八日	三月二十八日
佐世保	四月五日	三月三十一日

○南洋交通船筑前丸第五回輸送日割中左記ノ通決定ス
 (十二月二日本欄参照)

入港日時 十二月二十日午前
 出港日時 十二月二十五日午後四時

横須賀海軍港務部

○外國出張

英國へ出張ヲ命セラレタル海軍大佐井口二郎ハ來ル
 十二月十九日午前九時十五分東京驛發同日正午横濱出
 港ノ「コレヤ」丸ニテ出發ノ豫定

0693

○電話架設

海軍經理學校教頭

下谷 四〇〇五番

海軍主計大佐

刑部

齊

府下日暮里渡邊町一〇五〇

○正誤

本年十月十五日令達欄官房第三五七四號ノ二大正十年
度新造雜役船ノ公稱番號及所屬表中傳馬船ノ記事欄代
船番號ヲ左ノ通正誤ス

公稱第一三八五號ハ公稱第一三一號

公稱第四九一號ハ公稱第八三五號ノ誤

公稱第一二八八號ハ公稱第一五二四號

十二月十三日辭令欄永江晋ノ辭令ハ衍

(部内限一頁)

0694

海軍公報

第二千七百六十一號

海軍大臣官房

大正十年十二月十六日(金)

○令達

官房第四二〇七號

明治四十年十月官房第四四五三號ハ之ヲ廢止ス

大正十年十二月十六日 (大正十年官房第五五五号外)

臨時海軍大臣事務管理
内閣總理大臣 子爵 高橋 是清

參照 明治四十年十月官房第四四五三號ハ海軍大學校甲種學生採用
試験規格ノ件ナリ(諸例則卷一、四五〇頁)

○通牒

官房第四二〇八號

大正十年十二月十六日

海軍省副官代理

海軍大佐 今村 信次郎

艦隊、鎮守府、要港部參謀長(參謀)殿

海軍公報 第二千七百六十一號 大正十年十二月十六日

汽船「トロール」漁業許可ノ件 本件ニ關シ左記ノ通農商務省水産局ヨリ通知アリタリ 右通牒ス 記		許可番號	第七二號
住 所	東京市日本橋區小網町一丁目一番地	船 名	高砂丸
氏名又ハ名稱	堤 清六	操業區域	東海及黃海
漁獲物陸揚港	下關、博多、長崎	許可期間	許可ノ日ヨリ拾箇年
制限又ハ條件	一、朝鮮總督府及臺灣總督府令ノ定ムル「トロール」漁業ノ禁止區域ハ之ヲ遵守スヘシ 二、「トロール」漁業監視ノ乘組ヲ命ジタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス		

二〇八七

0695

許可年月日 大正十年十二月六日

(名義變更ノ分)

○東京市日本橋區本町四丁目九番地日本「トロール」株式會社汽船「トロール」漁業ヲ經營スル爲左記「トロール」汽船ヲ讓受ケタルニ付其ノ許可名義ヲ同社ニ變更セリ

許可年月日	許可番號	船名	船舶讓渡人
大正十年五月十四日	第七一號	海光丸	東京市亦坂區表町三丁目十三番地渡邊 嘉一
大正九年十月二十九日	第四八號	加茂丸	東京市麴町區八重洲町一丁目一番地日魯漁業株式會社

軍需第一號ノ三五三

大正十年十二月十六日

海軍省軍需局長 中里 重 次

各工廠長 殿

機銃小銃及拳銃射擊報告用紙ノ件

達第二百十號ヲ以テ機銃小銃及拳銃射擊規則改正ノ結果同報告用紙機式變更有之候處其ノ内小銃射擊報告第一表同第二表及機銃及小銃拳銃發射彈數報告表ハ在庫

品アル間從來ノモノヲ訂正使用セシメラルル御趣旨ニ有之候條可然供給方御取計相成度右申進ス

○ 辭 令

○大正十年十二月十四日

任海軍書記

住友 增造

給七級俸

任海軍書記

森 榮

給月俸六拾圓

(各通)

海軍書記 住友 增造
同 森 榮

吳海軍工廠勤務ヲ命ス

海軍准教員ヲ命ス

藤村 シズ

月俸參拾圓ヲ給ス

願ニ依リ海軍准教員ヲ免ス

小林 包次
寺尾 政吉

(各通)

海軍技手 山野 隆次

依願免本官

願ニ依リ海軍監獄看守ヲ免ス

松本 壽三郎

吳海軍建築部ニ於ケル土木工事業務賜訃ヲ解ク

堀 信一

0696

支那上海へ出張ヲ命ス(以上皆海軍省)

○艦船所在

▲印▲ハカフ
指定ヲ要セス

○十二月十六日午前十時調

【横須賀】 口長門▲、陸奥▲、金剛▲、山城▲、榛名▲、生駒▲、朝日▲、三笠▲、富士▲、鳳翔▲、若宮▲、磐手▲、北上▲、阿蘇▲、津輕▲、橋立▲、瀨州▲、武藏▲、千早▲、口澤風▲、沖風▲、峯風▲、矢風▲、口汐風▲、夕風▲、太刀風▲、口秋風▲、灘風▲、羽風▲、島風▲、口夕立▲、白露▲、夕暮▲、三日月▲、口春風▲、初春▲、初雪▲、口初霜▲、神風▲、響▲、如月▲、吹雪▲、有明▲、口追風▲、疾風▲、彌生▲、浦風▲、夕風▲、時雨▲、薄雲▲、不知火▲、口潜九▲、潜八▲、口潜一五▲、潜一四▲、口潜二六▲、潜二五▲、潜二七▲、口潜二八▲、潜二九▲、潜三八▲、潜三九▲、潜四〇▲、潜四一▲、口雄▲、白鷹▲、鴻鷗▲、松江▲、松山丸

【浦賀】 五十鈴▲、菱▲、蓮

【大湊】 口樺▲、樺▲、槓▲、桑▲、高崎

【小樽】 大泊

【吳】 伊勢▲、球磨▲、多摩▲、口矢矧▲、韓崎▲、扶桑▲、攝津▲、鞍馬▲、伊吹▲、淺間▲、平戸▲、駒橋▲、千代田▲、周防▲、千歳▲、大和▲、口長月▲、水無月▲、菊月▲、口菊▲、谷風▲、江風▲、葵▲、口藤▲、萩▲、薄▲、村雨▲、朝霧▲、白雲▲、朝潮▲、陽炎▲

【馬公】 利根

【新舞鶴】 口安藝▲、薩摩▲、口木曾▲、大井▲、鹿島▲、香取▲、吾妻▲、筑摩▲、勝力▲、新高▲、對馬▲、日進▲、口若葉▲、潮▲、朝風▲、子日▲、口時津風▲、磯風▲、天津風▲、濱風▲、帆風▲、野風▲、口水七三▲、水七二▲、水七四▲、水七五

【別府】 口海風▲、山風▲、檜▲

【鎮海】 口柏▲、榊▲、杉▲、松

【旅順】 口綾波▲、磯波▲、浦波▲、青島

【神戶】 加賀▲、潜三〇▲、潜三一▲、潜三二▲、潜三三▲、潜四六

【由宇沖】 口天龍

【德山】 劍崎

【佐世保】 霧島▲、比叡▲、日向▲、長良▲、龍田▲、敷島▲、肥前▲、常磐▲、須磨▲、見島▲、沖島▲、最上▲、口楠▲、桂▲、梅▲、楓▲、口檜▲、檜▲、梅▲、桃▲、柳▲、口竹▲、榎▲、梨▲、樅▲、口榊▲、栗▲、梅▲、榎▲、口松風▲、白雲▲、野分▲、霞▲、葦▲、口潜二一▲、潜一八▲、口潜四二▲、潜四三▲、潜四五▲、口鷲▲、鶉▲、雲雀▲、鷓▲、鴈▲、蒼鷹▲、鶴▲、燕▲、知床▲、襟裳

【神戶】 加賀▲、潜三〇▲、潜三一▲、潜三二▲、潜三三▲、潜四六

【由宇沖】 口天龍

【德山】 劍崎

海軍公報 第二千七百六十二號

大正十年十二月十六日

一〇八九

0697

【南洋群島】 淀、泰安丸
 ▶石見
 浦 關東
 上 明石
 漢 嵯峨
 長 沙 陽田
 宜 昌 伏見
 重 慶 鳥羽
 【アール】 ▶山雲、八雲

【航海中】

佐多(四日新嘉坡發德山へ)
 宇治(八日漢口發南京へ)
 室戸(十三日佐世保發馬公へ)
 春日(十四日鎮海發雄基へ)
 橋、櫻、樺、桐(十四日佐世保發馬公へ)
 勞山(十五日神戸發橫須賀へ)

○雜款

○南洋交通船筑前九行動豫定

地名 著 十二月二十日 發

横須賀	十二月二十日	二十五日
門司	二十八日	二十九日
二見	一月一日	二日
サイパン	五日	六日
トラツク	九日	十日
ヤラツク	十六日	十七日
バラツク	十八日	十九日
アンガウル	二十四日	二十五日
バラオ	二十五日	二十六日
ヤラツク	二十七日	二十八日
トラツク	二月一日	四日
サイパン	七日	八日
二見	十一日	十二日
横濱	十四日	

○改姓
 海軍大尉井上繁里ハ高知縣平民關田家ニ入籍ノ旨十二月十二日届出タリ

(部内限一頁)

海軍公報

第二千七百六十二號

海軍大臣官房

大正十年十二月十七日(土)

○令 達

官房第四二一六號

大正二年三月官房第六五二號隨意契約及指名競争實施手續ニ依ル購買名簿中左ノ通改正ス

大正十年十二月十七日

臨時海軍大臣事務管理

内閣總理大臣 子爵 高橋 是清

四、電氣機械、器具、材料類、第九、第一三、第四二、及第四三、「株式會社川北電氣企業社」ヲ「株式會社川北電氣製作所」ニ改ム

官房第四二一七號

大正十年年度歳出科目左ノ通追加ス

大正十年十二月十七日

臨時海軍大臣事務管理

内閣總理大臣 子爵 高橋 是清

海軍火藥廠作業會計歳出

款	項	目	節	解疏	會計科目 電信略號
(海軍火藥廠作業費)	(事業費)	(雜給及雜費)	慰勞金		キヒ

海軍燃料廠作業會計歳出

款	項	目	節	解疏	會計科目 電信略號
(海軍燃料廠作業費)	(俸給)	賞與			メセ
	(事業費)	(雜給及雜費)	慰勞金		ヒイ

○艦船所在

△印ハ「ハ」ホ「フ」指定ヲ要セス

海軍公報 第二千七百六十二號

大正十年十二月十七日

一〇九一

0699

○十二月十七日午前十時調

【横須賀】口長門△、陸奥△、金剛△、山城、榛名、生駒、朝日、三笠、富士、鳳翔、若宮、磐手、北上△、阿蘇、津輕、橋立、滿州、武藏、千早、口澤風、沖風△、峯風、矢風、口汐風、夕風、太刀風、口秋風、灘風、羽風、島風、口夕立、白露、夕暮、三日月、口春風、初春、初雪、口初霜△、神風△、響、如月、吹雪△、有明△、口追風△、疾風△、彌生△、浦風△、夕風△、時雨、薄雲、不知火、口潜九、潜八、口潜一五、潜一四、口潜二六、潜二五、潜二七、口潜二八、潜二九、潜三八、潜三九、潜四〇、潜四一、口雄、白鷹、鴻、鷗、松江、松山丸

【横濱】尻矢、筑前丸

【浦賀】五十鈴、菱、蓮

【大湊】口櫻、椿、楨、桑

【吳】伊勢、球磨、多摩、口天龍、口矢矧、韓崎、扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、平戸、駒橋、千代田、周防、千歳、大和、口長月、水無月、菊月、口菊、谷風、江風、葵、口藤、萩、薄、蕩、村雨、朝霧、白雲、朝潮、陽炎、卯月、口潜一、潜一〇、潜一二、口潜一三△、潜一六△、潜一七△、口潜二三、潜二〇、潜一九、潜二二、潜二四、潜三四、潜三五、潜三六、潜三七、潜四四、水六七、水六八、水七〇、水七一、能登呂△、野島△、野間、膠州△、劍埼、洲埼

【大阪】巖、鶴見

【神戶】加賀、潜三〇、潜三一、潜三二、潜三三、潜四六

【佐世保】霧島、比叡、日向△、長良、龍田△、敷島、肥前、常磐△、須磨、見島、沖島、最上、口楢△、桂△、梅△、楓△、口樫、檜、檜、柳、口竹△、榎△、梨△、樅△、口柿△、栗△、梅△、榆△、口松風、白雪、野分、霞、葦、口潜二一、潜一八、口潜四二、潜四三、潜四五、口鷲、鶉、雲雀、鷓、雁、蒼鷹、鶇、燕、知床、襟裳

【馬公】利根

【新舞鶴】口安藝、薩摩△、口木曾△、大井△、鹿島、香取、吾妻△、筑摩、勝力△、新高△、對馬△、日進、口若葉、潮、朝風、子日、口時津風、磯風、天津風、濱風、帆風、野風、口水七三、水七二、水七四、水七五

【鎮海】口柏、榎、杉、松

【雄基】春日

【旅順】口綾波△、磯波△、浦波△

【南洋群島】淀、泰安丸

【浦鹽】口石見

【上港】關東

【淡路】口明石

【長沙】嵯峨

【宜昌】陰田

【重慶】伏見

【鳥羽】鳥羽

0700

【アーツル】▷出雲、八雲

【航海中】

佐多(四日新嘉坡發德山へ)
宇治(八日漢口發南京へ)
室戸(十三日佐世保發馬公へ)
橋、櫻、樺、桐(十四日佐世保發馬公へ)
勢山(十五日神戸發横須賀へ)
海風、山風、檜、榎(十六日別府發舞鶴へ)
高崎(十六日大湊發横須賀へ)
青島(十六日旅順發佐世保へ)
大泊(十七日小樽發亞港へ)

○雜款

○司令潜水艦變更
第十五潜水隊司令ハ本月十四日司令潜水艦ヲ第二十四潜水艦ヨリ第二十二潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送先
特務艦襟裳宛

十二月十九日迄到着見込ノモノハ 佐世保
其ノ後ハ 呉郵便局留置

○郵便物發送先變更(十一月二十一日
特務艦洲崎宛)

一月十五日迄到着見込ノモノハ 德山
其ノ後ハ 横須賀

○事務所撤去
佐世保海軍工廠内ニ設置中ノ軍艦長良艦裝具事務所ハ
十二月十七日限り撤去ス(軍艦長良)

0701

海軍公報

第二千七百六十三號

海軍大臣官房

大正十年十二月十九日(月)

○艦船所在

指[△]印[△]ハ[△]ホ[△]フ[△]
指[△]定[△]ヲ[△]要[△]セ[△]ス

○十二月十九日午前十時調

【横須賀】口長門[△]、陸奥[△]、金剛[△]、山城、榛名、生駒、朝日、三笠、富士、鳳翔、若宮、磐手、北上[△]、阿蘇、津輕、橋立、滿州、武藏、千早、[△]澤風、沖風[△]、峯風、矢風、[△]汐風、夕風、太刀風、[△]秋風、濰風、羽風、島風、[△]夕立、白露、夕暮、三日月、[△]春風、初春、初雪、[△]初霜、神風[△]、響、如月、吹雪[△]、有明[△]、[△]追風、疾風[△]、彌生[△]、浦風、夕風[△]、時雨、薄雲、不知火、[△]潜九、[△]潜八、[△]潜一五、[△]潜一四、[△]潜二六、[△]潜二五、[△]潜二七、[△]潜二八、[△]潜二九、[△]潜三八、[△]潜三九、[△]潜四〇、[△]潜四一、[△]雄、白鷹、鴻、鷗、松江、勞山、松山丸

【石川島】 隼

【横濱】 尻矢、筑前丸

【浦賀】 五十鈴、菱、蓮

【大湊】 [△]櫻、椿、榎、桑

【吳】 伊勢、球磨、多摩、[△]天龍、[△]矢矧、韓崎、扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、平戶、駒橋、千代田、周防、

千歲、大和、[△]長月、水無月、菊月、[△]菊、谷風、江風、葵、[△]藤、秋、薄、鳶、村雨、朝霧、白雲、朝潮、陽炎、卯月、[△]潜一、[△]潜一〇、[△]潜一二、[△]潜一三、[△]潜一六、[△]潜一七、[△]潜二二、[△]潜二〇、[△]潜一九、[△]潜二二、[△]潜二四、[△]潜三四、[△]潜三五、[△]潜三六、[△]潜三七、[△]潜四四、水六七、水六八、水七〇、水七一、能登呂[△]、野島[△]、膠州[△]、劍埼

【大坂】 巖、鶴見

【神戸】 加賀、[△]潜三〇、[△]潜三一、[△]潜三二、[△]潜三三、[△]潜四六

【徳山】 佐多

【佐世保】 霧島、比叡、日向[△]、長良、龍田[△]、敷島、肥前、常磐[△]、見島、沖島、最上、[△]楠、桂[△]、梅[△]、楓[△]、[△]榎、檜、桃、柳、[△]竹、[△]榎、梨[△]、[△]榎、[△]柿、栗[△]、梅[△]、榆[△]、[△]松風、白雲、野分、霞、葦、[△]潜二一、[△]潜一八、[△]潜四二、[△]潜四三、[△]潜四五、[△]鷲、鶉、雲雀、鷓、雁、蒼鷹、鶴、燕、知床、襟裳

【長崎】 土佐、須磨

【馬公】 利根、[△]橘、櫻、椿、桐、室戸

【新舞鶴】 [△]安藝、薩摩[△]、[△]木曾、大井、鹿島、

海軍公報 第二千七百六十三號

大正十年十二月十九日

一〇九五

0702

香取、吾妻、筑摩、勝力、新高、對島、日進、磯風、潮、朝風、子日、海風、山風、稻、榎、時津風、磯風、天津風、濱風、帆風、野風、水七三、水七二、水七四、水七五

【鎮海】 柏、柳、杉、松

【清津】 春日

【旅順】 綾波、磯波、浦波

【南洋群島】 淀

【浦鹽】 石見

【上港】 關東

【漢口】 明石

【長沙】 嵯峨

【宜昌】 岡田

【重慶】 伏見

【アトツル】 鳥羽

ト出雲、八雲

【航海中】

宇治(八日漢口發南京へ)

高崎(十六日大湊發橫須賀へ)

青島(十六日旅順發佐世保へ)

大泊(十七日小樽發亞港へ)

野間(十七日吳發「タラカン」へ)

洲崎(十八日吳發「タラカン」へ)
泰安丸(十八日「トラック」發内地へ)

○ 雜 款

○ 軍艦進水

長崎三菱造船所ニ於テ建造ノ軍艦土佐昨十八日午前十時三十分進水セリ

○ 驅逐艦進水

東京石川島造船所ニ於テ建造ノ驅逐艦望本月十四日午後三時三十分進水セリ

○ 郵便物其他發送先

本艦宛郵便物其他大阪府下東成郡敷津村藤永田造船所敷津工場内宛御發送相成向往々有之事務進捗上差支ヲ生シ候ニ就テハ爾今左記宛御發送相成度(特務艦鶴見艦裝員長)

大阪市西區櫻島町大阪鐵工所櫻島工場内
鶴見艦裝員

○ 特務艦襟裳行動豫定

地名 著 發
佐世保 十二月十九日

0703

タラカン 十二月三十日 一月二日
 吳 一月十三日 十八日
 佐世保 十九日

○特務艦洲崎行動豫定

地名	著	發
横須賀	二月六日	一月二十六日
タラカン	二月二十日	二月十日
徳山	二月二十四日	二月二十三日
吳	三月十日	二月二十八日
タラカン	三月十八日	三月十四日
マニラ	三月二十八日	三月十九日
横須賀	三月二十八日	三月十九日

○南洋交通船泰安丸第五回輸送日割左ノ通變更ス(十二月七日日本欄参照)

- 一、行先地 南洋西廻
 - 二、入港日 十二月二十六日ノ豫定
 - 三、出港日 大正十一年一月上旬
 - 四、輸送請求締切 十二月二十四日正午
 - 五、物件搭載時刻 出港時刻ノ二時間前
 - 六、便乗者乗船時刻 出港時刻ノ二時間前マテニ港務部ニ集合ノ上乘船セシム
- 備考 一、本船ハ建築材料輸送専用ニ付郵便物及

要急不得止モノノ外應シ難シ
 二、出港時刻ハ決定次第通知ス
 横須賀海軍港務部

○殘務結了
 舊第二艦隊殘務本月十六日結了セリ

0704

海軍公報

第二千七百六十四號

大正十年十二月二十日(火)

海軍大臣官房

○通牒

海人第八〇號

大正十年十二月二十日

海軍省人事局長 古川 鈺三郎

各廳長 殿

拜謁願出ニ關スル件

外國出張又ハ歸朝等ニ際シ拜謁願出ノ儀ハ昨年來差控
フルコトニ相成居候處爾今從前ノ例ニ準シ 攝政宮殿
下へ拜謁願出方差支無之旨宮内省ヨリ通牒有之候條右
ノ場合ニ於テハ從前ヨリ餘裕ヲ取リ約二週間前ニ願出
ル様取計相成度
右依命通知ス

(參照) 海軍諸例則卷三、二二九頁

○辭令

海軍公報 第二千七百六十四號

大正十年十二月二十日

一〇九九

復職ヲ命ス 休戰海軍技手 伊 藤 博
海軍技手 伊 藤 博
海軍火藥廠附ヲ命ス(以上詰海軍省)

○艦船所在

△印ハハホノ
指定ヲ要セス

○十二月二十日午前十時調

〔横須賀〕 口長門△、陸奥△、金剛△、山城、榛名、生駒、
朝日、三笠、富士、鳳翔、若宮、磐手、北上△、阿蘇、
津輕、橋立、滿州、武藏、千早、口澤風、沖風△、
峯風、矢風、口汐風、夕風、太刀風、口秋風、灘風、羽風、
島風、口夕立、白露、夕暮、三日月、口春風、初春、
初雪、口初霜△、神風△、響、如月、吹雪△、有明△、
口追風△、疾風△、彌生△、浦風△、夕風△、時雨、薄雲、
不知火、口潛九、潛八、口潛一五、潛一四、口潛二六、
潛二五、潛二七、口潛二八、潛二九、潛三八、潛三九、
潛四〇、潛四一、口雄、白鷹、鴻、鷗、松江、勞山
〔石川島〕 龍
〔横濱〕 尻矢、筑前丸
〔浦賀〕 五十鈴、菱、蓮

0705

【大 湊】 伊勢、球磨、多摩、天龍、矢矧、韓崎、

扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、平戸、駒橋、千代田、周防、

千歲、大和、長月、水無月、菊月、菊、谷風、江風、

葵、藤、萩、薄、葛、村雨、朝霧、白雲、朝潮、陽炎、

卯月、潜一六、潜一七、潜一〇、潜一二、潜一三、

潜一六、潜一七、潜二四、潜三四、潜三五、潜三六、潜三七、

潜四四、水六七、水六八、水七〇、水七一、能登呂、

野島、膠州、劍崎、高崎

【大 阪】 廣、鶴見

【神 戶】 加賀、潜三〇、潜三一、潜三二、潜三三、

潜四六

【德 山】 佐多

【佐 世 保】 霧島、比叡、日向、長良、龍田、敷島、

肥前、常磐、見島、須磨、沖島、最上、楠、桂、

梅、楓、檉、檜、梅、柳、竹、樞、梨、

從、栴、栗、梅、榆、松風、白雪、

野分、霞、葦、潜二一、潜一八、潜四二、潜四三、

潜四五、鷺、鶉、雲雀、鷓、雁、蒼鷹、鴿、燕、

知床、青島

【長 崎】 土佐

【馬 公】 利根、橘、櫻、樺、桐、室戸

【新 舞 鶴】 安藝、薩摩、木曾、大井、鹿島、

香取、吾妻、筑摩、勝力、新高、對島、日進、

若葉、潮、朝風、子日、海風、山風、檜、榎、時津風、

磯風、天津風、濱風、帆風、野風、水七三、水七二、

水七四、水七五

【鎮 海】 柏、榊、杉、松

【城 津】 春日

【旅 順】 綾波、磯波、浦波

【南 洋 群 島】 淀

【浦 鹽】 石見

【上 港】 關東

【南 海】 明石

【京 治】 宇治

【漢 口】 嵯峨

【長 沙】 隅田

【宜 昌】 伏見

【重 慶】 鳥羽

【ア ー ツ ル】 出雲、八雲

【航 海 中】

大泊(十七日小樽發亞港へ)

野間(十七日吳發「タラカン」へ)

松山丸(十七日横須賀發南洋へ)

洲崎(十八日吳發「タラカン」へ)

泰安丸(十八日「トラック」發内地へ)

襟裳(十九日佐世保發「タラカン」へ)

0706

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

驅逐艦廢死

十二月二十六日迄到著見込ノモノハ 吳
共ノ後ハ 佐世保

○ 監督官更迭 (十二月十五日)

駐在地

舊監督官

新監督官

大 阪

竹内機關少將

網島機關大佐

(海軍艦政本部)

○ 赴任出發延期 (本月十四日)

(本欄参照)

獨國駐在仰付ラレタル海軍軍醫中佐伏島忠雄ハ郵船出
港延期ノ爲大正十一年一月三日午後五時三十分東京驛
出發ノコトニ變更セリ

0707

大正十年十二月二十日

水交社幹事

水交社員名簿

水交社員名簿ノ件

大正十一年一月一日調ヲ以テ水交社員名簿ヲ改版可致候ニ付各位ノ現住所(又ハ居所)電話番號ヲモ左ノ文例ニ依リ成ルヘク各廳艦團部隊毎ニ取纏メ東京築地四丁目一番地水交社社監宛テ大正十一年一月二十日迄ニ必ス御通知相成度候

文例

大	佐	何	某	何縣何郡何村何番地
技	師	何	某	吳市何町何番地(電話番號)
特務少尉	何	某	軍艦	何

尙ホ從來水交社員名簿ハ社員各自一部宛ノ割合ヲ以テ配賦致來候處自今之ヲ取止メ水交社記事ト同様ノ部數ヲ各廳艦團部隊等ヘ配賦シソレヲ以テ社員ノ供用ニ充ツルコトトシ其代金ハ水交社記事同様所屬本社支社集會所ノ負擔トシ整理致候而シテ社員個人トシテ要望ノ向ニ對シテハ勿論實費ヲ以テ其要望ニ應スヘク候ニ付葉書ニテ東京築地四丁目一番地水交社ヘ直接御申込相成度其代金ハ各要望者ノ自辨トシ本名簿送付ノ節振替用紙ヲ挿入シ請求可致候間右ニ依リ御拂込相成度候但シ其ノ實費ハ印刷部數ニ依リ變動可有之假リニ約三千部ヲ印刷スルト見テ一部約六拾錢ノ豫想ニ候爲念申添候

右得貴意候

0708

海軍公報

第二千七百六十五號

海軍大臣官房

大正十年十二月二十一日(水)

○通 牒

艦本第九九一八號

大正十年十二月二十一日

海軍艦政本部長 岡田 啓介

大正四年技本第三〇七號内國部外工場ニ注文ノ工事監督ニ關スル手續ニ依ル監督官駐在地方工場ヲ左記ノ通追加變更ス

記

追加ノ分

東京地方

三十九、株式會社關東製鎖所

四十、共立電機電線株式會社

四十一、株式會社横河電機製作所

四十二、株式會社小穴製作所

四十三、日本電線株式會社

大阪地方

十五、久保田鐵工場

十六、大阪機械工作所

十七、關西製鋼株式會社

十八、相澤造船所

十九、中島製作所

二十、松島鐵工所

二十一、村上鐵工所

二十二、日新電機株式會社

二十三、藤田工業株式會社

二十四、東洋鐵鋼株式會社

二十五、奥村電機株式會社

二十六、株式會社川北電氣企業社

二十七、津田電線合名會社

名古屋地方

四、株式會社電氣製鋼所

神戸地方

六、株式會社神戸製鋼所播磨造船工場

七、三井物産株式會社造船部玉工場

變更ノ部

神戸地方

海軍公報 第二千七百六十五號

大正十年十二月二十一日

一一〇世

0709

<p>五、三菱電機株式會社神戶工場</p>	<p>五、三菱電機株式會社神戶製作所</p>	<p>長崎地方 四、三菱造船株式會社長崎製鋼所 削除 大阪地方</p>	<p>舊名稱</p>	<p>新名稱</p>	<p>八、日本鑄鋼所大阪工場 一三、三菱工業株式會社大阪製煉所伏見分工場</p>	<p>八、株式會社日本鑄鋼所 一三、三菱工業株式會社伏見伸銅所</p>	<p>○辭令</p>	<p>海軍艦政本部ニ於ケル造船業務屬託ヲ解ク(註明海軍省) 海軍書記 河野 秀作 文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス 海軍艦政本部勤務兼造船監督助手ヲ免シ吳海軍工廠勤務ヲ命ス 海軍艦政本部勤務兼造船監督助手ヲ免シ吳海軍工廠勤務ヲ命ス 海軍艦政本部勤務兼造船監督助手ヲ免シ吳海軍工廠勤務ヲ命ス</p>
<p>歸朝ヲ命ス(以上註明海軍省) 海軍機關特務少尉 有賀信二郎 自今兵籍ヲ橫須賀鎮守府ニ指定ス(註明海軍省)</p>								
<p>○艦船所在 指定ヲ要セス</p>								
<p>○十二月二十一日午前十時調</p>								
<p>【橫須賀】 口長門△、陸奥△、金剛△、山城、榛名、生駒、朝日、三笠、富士、鳳翔、若宮、磐手、北上△、阿蘇、津輕、橋立、滿州、武藏、千早、巨澤風、沖風△、峯風、矢風、巨沙風、夕風、太刀風、巨秋風、瀨風、羽風、島風、巨夕立、白露、夕暮、三日月、巨春風、初春、初雪、巨初霜△、神風△、響、如月、吹雪△、有明△、巨追風△、疾風△、彌生△、浦風、夕風△、時雨、薄雲、不知火、巨潛九、潛八、巨潛一五、潛一四、巨潛二六、潛二五、潛二七、巨潛二八、潛二九、潛三八、潛三九、潛四〇、潛四一、巨雉、白鷺、鴻、鷗、松江、勢山、筑前丸</p> <p>【石川島】 龍 【橫濱】 尻矢 【浦賀】 五十鈴、菱、蓮 【大湊】 巨樺、樺、楨、桑 【吳】 伊勢、球磨、多摩、巨天龍、巨矢矧、韓崎</p>								

0710

扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、平戸、駒橋、千代田、周防、千歳、大和、長月、水無月、菊月、菊、谷風、江風、葵、藤、萩、薄、葦、村雨、朝霧、白雲、朝朝、陽炎、卯月、潜一六、潜一七、潜一〇、潜一二、潜一三、潜一六、潜一七、潜二〇、潜二一、潜二二、潜二九、潜三二、潜三四、潜三五、潜三六、潜三七、潜四四、水六七、水六八、水七〇、水七一、能登呂、野島、膠州、劍崎、高崎

【大 阪】 炭、鶴見

【神 戸】 加賀、潜三〇、潜三一、潜三二、潜三三、潜四六

【德 山】 佐多

【佐世保】 霧島、比叡、日向、長良、龍田、敷島、肥前、常磐、見島、須磨、沖島、最上、楠、桂、梅、楓、櫻、檜、檜、桃、柳、竹、榎、梨、榎、栗、梅、榆、松風、白雪、野分、靛、柏、葦、潜二一、潜一八、潜四二、潜四三、潜四五、鷲、鶉、雲雀、鶴、雁、蒼鷹、燕、鴿、知床、青島

【長 崎】 土佐

【馬 公】 利根、橋、櫻、樺、桐、室戸

【新舞鶴】 安藝、薩摩、木曾、大井、鹿島、香取、吾妻、筑摩、勝力、新高、對馬、日進、若葉、潮、朝風、子日、海風、山風、檜、榎、時津風、磯風、天津風、濱風、帆風、野風、水七三、水七二、

水七四、水七五

【鎮 海】 柳、杉、松

【城 津】 春日

【旅 順】 綾波、磯波、浦波

【南洋群島】 淀

【浦 鹽】 石見

【上 海】 關東

【南 京】 明石

【漢 口】 宇治

【長 沙】 嵯峨

【重 慶】 伏見

【アール】 鳥羽

▷ 出雲、八雲

【航 海 中】

大泊(十七日小樽發亞港へ)

野間(十七日吳發「タラカン」へ)

松山丸(十七日横須賀發南洋へ)

洲崎(十八日吳發「タラカン」へ)

泰安丸(十八日「トラック」發内地へ)

襟裳(十九日佐世保發「タラカン」へ)

○ 雜 款

海軍公報 第三千七百六十五號 大正十年十二月三十一日 二〇五

0711

○郵便物務送究
 特務艦知床宛 本日以後 吳郵便局留置
 特務艦皇崎宛 十二月二十四日迄到着見込ノモノハ 横須賀
 同 二十五日迄 同 千葉縣館山
 同 二十七日迄 同 勝浦
 同 二十九日迄 同 同 銚子
 一月 二日迄 同 宮城縣鹽竈
 同 四日迄 同 同 女川
 同 六日迄 同 同 岩手縣山田
 同 八日迄 同 同 同 鮫
 同 十日迄 同 同 同 同 鮫
 其ノ後ハ 大函 濱

○赴任期日變更 (十二月十二日) (本欄参照)
 波蘭國駐在海軍大尉前田稔ノ赴任期日二十三日ヲ三十
 一日ニ變更ス

○事務所撤去
 大阪藤永田造船所敷津工場内ニ設置中ノ驅逐艦廠裝
 員事務所ハ本月十九日限リ撤去セリ (廠驅逐艦長)

○神戸「ベスト」有菌鼠發見報 (十二月十九日) (内務省衛生局)

番號	發見月日	決定月日	發見方法	發見場所	頭數
二三	十二月十五日	十二月十六日	捕鼠隊	高濱倉庫七號上 屋內	一
二三	十二月十六日	十二月十七日	買收	高濱倉庫七號上 屋內	一
二四	同右	同右	除鼠的消毒 方法ノ際	高濱倉庫七號上 屋內	一
累計	兵庫縣 惠者 二名 有菌鼠 二十四頭				

○正誤
 昨二十日辭令欄休職海軍技手ハ休職海軍技手ノ誤

(部内限一頁)

0712

海軍公報

第二千七百六十六號

海軍大臣官房

大正十年十二月二十二日(木)

○通牒

經豫第五三一號

大正十年十二月二十二日

海軍省經理局長 志 佐 勝

大正十年度歳出臨時部細節科目左ノ通追加ス

款	項	目	節	細節	會計科目	略文電信
軍備補 充費	軍艦製 造費	造船			電信略號	略文電信
				特務艦 鳴戸	一ノ一	Kai chi- nochi
				特務艦 隱戸	一ノ二	Kai chi- homi
				特務艦 此宮	一ノ三	Kai chi- hosan
				早務艦 朝	一ノ四	Kai chi- hoyon
				長務艦 鯨	一ノ五	Kai chi- hogo

右通知ス	造兵費	細節	會計科目	略文電信
		特務艦 鳴戸	二ノ一	Kanino- tohi
		特務艦 隱戸	二ノ二	Kanino- ni
		特務艦 間宮	二ノ三	Kanino- san
		早務艦 朝	二ノ四	Kanino- yon
		長務艦 鯨	二ノ五	Kanino- go

○辭令

海軍主計中佐 柳田 次郎
 購買名簿調査委員會委員ヲ免ス
 海軍主計中佐 永宮 二男造
 購買名簿調査委員會委員ヲ命ス(以上并同海軍省)
 海軍少佐 野 田 清
 第二課勤務ヲ命ス(并同海軍省軍務局)

海軍公報 第二千七百六十六號 大正十年十二月二十二日

二七〇七

0713

<p>【亞 港】 大泊 【上 港】 關東 【南 海】 明石 【漢 口】 宇治 【長 沙】 嗟峨 【宜 昌】 附田 【重 慶】 伏見 【アール】 鳥羽 【アール】 出雲、八雲</p>	<p>【航海中】 野間(十七日吳發「タラカン」へ) 松山丸(十七日横須賀發南洋へ) 洲崎(十八日吳發「タラカン」へ) 泰安丸(十八日「トラツク」發内地へ) 襟裳(十九日佐世保發「タラカン」へ) 勞山(二十一日横須賀發吳へ) 青島(二十一日佐世保發吳へ)</p>	<p>○郵便物發送先 驅逐艦帆風宛 本日以後</p>	
<p>特務艦佐多宛 自今 佐世保</p>	<p>○事務所撤去 舞鶴海軍工廠内ニ設置中ノ帆風儀裝具事務所ハ十二月十九日限り撤去セリ(驅逐艦帆風)</p>	<p>○外國出張 英國へ出張ヲ命セラレタル海軍主計少佐江副巽ハ來ル二十三日午前十一時三十二分東京驛發(電車)當日横濱出港ノ香取丸ニテ出發ノ豫定</p>	<p>○正誤 昨二十一日辭令閣海軍機關特務少尉有賀信一郎ノ辭令日附十二月二十一日ハ十二月二十日ノ誤</p>
<p>○雜 款</p>			<p>横 須 賀</p>

海軍公報 第二千七百六十六號 大正十年十二月二十二日 (部内限二頁) 一一〇九

0715

海軍公報

第二千七百六十七號

海軍大臣官房

大正十年十二月二十三日(金)

○令 達

官房第四二七二號

左記ニ依リ大正十一年十二月海軍大學校甲種學生ヲ採用ス

入學試験ハ同年四月下旬施行ノ豫定

記

一、選拔表到達期 大正十一年三月三十一日

二、候補者

(イ) 海上勤務計算最終期 大正十一年三月三十一日

日

(ロ) 海軍大尉ニ任セラレタル後ノ經過年數計算最終期 大正十一年三月三十一日

(ハ) 選抜ノ際學生タラサル者

右告達ス

大正十年十二月二十三日

臨時海軍大臣事務管理

内閣總理大臣 子爵 高橋 是清

海軍公報 第二千七百六十七號 大正十年十二月二十三日

附記

海軍大學校規則第十六條但書ニ依リ英語以外ノ外國語和譯ノ受験希望者アルトキハ選拔表ニ之ヲ明記スルト共ニ大正十年二月末日迄ニ到達スル様所轉長ハ直接海軍教育本部長ニ通知スヘシ

官房第四二七二號ノ二

左記ニ依リ大正十一年十二月海軍大學校航海學生、海軍砲術學校高等科學生、海軍水雷學校高等科學生ヲ採用ス

考試ハ同年四月下旬施行ノ豫定其ノ規格次ノ如シ

一、雜問 初級將校トシテ心得ヘキ實務上及學術上ノ事項

二、英文和譯海軍兵學校修業程度但シ辭書ヲ用ツルコトヲ得

記

一、候補者名簿到達期 大正十一年三月三十一日

二、候補者

(イ) 大正六年十二月一日ヨリ同九年十二月一日迄ノ間ニ於テ海軍中尉ニ任セラレタル者

(ロ) 選抜ノ際學生タラサル者
右告達ス

大正十年十二月二十三日

臨時海軍大臣事務管理

内閣總理大臣 子爵 高橋 是清

官房第四二七二號ノ三

左記ニ依リ大正十一年十二月海軍大學校機關學生ヲ探
用ス

入學試験ハ同年四月下旬施行ノ豫定

記

一、選抜表到達期 大正十一年三月三十一日

二、候補者

(イ) 大正七年以後ニ於テ海軍機關大尉ニ任セラレ
タル者

(ロ) 大正七年及同八年ニ於テ海軍機關中尉ニ任セ
ラレタル者

(ハ) 選抜ノ際學生タラサル者

右告達ス

大正十年十二月二十三日

臨時海軍大臣事務管理

内閣總理大臣 子爵 高橋 是清

官房第四二七二號ノ四

左記ニ依リ大正十一年十二月海軍軍醫學校高等科學生
ヲ採用ス

記

一、選抜表到達期 大正十一年三月三十一日

二、候補者

(イ) 大正五年十二月一日ヨリ同八年十二月一日迄
ノ間ニ於テ海軍軍醫大尉ニ任セラレタル者

(ロ) 選抜ノ際學生タラサル者

右告達ス

大正十年十二月二十三日

臨時海軍大臣事務管理

内閣總理大臣 子爵 高橋 是清

官房第四二七二號ノ五

左記ニ依リ大正十一年十二月海軍經理學校高等科學生
ヲ採用ス

記

一、選抜表到達期 大正十一年三月三十一日

二、候補者

(イ) 海軍主計大尉ニ任セラレタル後ノ經過年數計
算最終期 大正十一年三月三十一日

0717

(ロ) 選抜ノ際學生タラサル者
右告達ス

大正十年十二月二十三日

臨時海軍大臣事務管理

内閣總理大臣 子爵 高橋 是清

官房第四二七二號ノ六

左記ニ依リ大正十一年十二月海軍軍醫學校選科學生ヲ
採用ス

入學試験ハ大正十一年六月上旬施行ノ豫定

記

一、志願書到達期(志願書ニハ試験ヲ受クヘキ外國語
名ノ記入ヲ要ス) 大正十一年三月三十一日

二、候補者
海軍軍醫大尉、海軍藥劑大尉ニ任セラレタル後
ノ經過年數計算最終期 大正十一年三月三十一
日

右告達ス

大正十年十二月二十三日

臨時海軍大臣事務管理

内閣總理大臣 子爵 高橋 是清

官房第四二七二號ノ七

左記ニ依リ大正十一年十二月海軍大學校選科學生(帝
國大學ニ委託修學セシムヘキモノ)ヲ採用ス
考試ハ同年六月上旬施行ノ豫定其ノ規格次ノ如シ

一、初等微積分學

二、英文和譯(辭書ヲ用フルコトヲ得)

記

一、志願書到達期 大正十一年三月三十一日
二、候補者

兵科及機關科中尉又ハ大正八年十二月以後任官
ノ兵科及機關科大尉ニシテ左記科目ヲ專修スヘ
キ者

火藥學 兵科

兵器學 魚雷 兵科

電氣工學

冶金學 機關科

應用化學

物理學

航空學 兵科機關科

右告達ス

大正十年十二月二十三日

臨時海軍大臣事務管理

内閣總理大臣 子爵 高橋 是清

海軍公報 第二千七百六十七號 大正十年十二月二十三日

一一三

0718

官房第四二七二號ノ入

左記ニ依リ大正十一年十一月海軍兵學校、海軍機關學校及海軍經理學校選修學生ヲ採用ス

記

一、候補者人名及其ノ所轄ヲ學校長ニ通知期

大正十一年三月三十一日

二、勤務日數最終計算期

大正十一年三月三十一日

三、學術試驗施行期

大正十一年四月下旬

四、學術試驗課目及程度

國語 (中學校第二年修了程度)

作文 (記事文)

算術 (求積ヲ除ク)

代數 (整數式四則迄)

英語 (中學校第一學年程度ノ簡單ナル單語及單文譯解)

五、候補名簿及選拔表進達期 大正十一年七月三十一日
右告送ス

大正十年十二月二十三日

臨時海軍大臣事務管理

内閣總理大臣 子爵 高橋 是清

○ 辭 令

○大正十年十二月二十二日

任海軍書記

勳七等

池田 孝雄

給七級俸

任海軍書記

金子 壽彦

給月俸六拾圓

吳海軍工廠勤務ヲ命ス 海軍書記

池田 孝雄

海軍艦政本部附ヲ命ス 同

金子 壽彦

海軍燃料廠醫務業務ヲ囑託ス 勳八等

平林 邦路

但報酬月額百五拾圓ヲ給シ部内限り委任官待遇トス (以上并ニ海軍省)

海軍少佐 大和田芳之介

第二部勤務ヲ命ス (并ニ海軍教育本部)

兼第六部勤務ヲ命ス 海軍中佐 生田 矢一

第六部勤務ヲ命ス 海軍機關少佐 花島 孝一

第一部勤務兼第六部勤務ヲ命ス (以上并ニ海軍艦政本部)

海軍造兵大佐 小山 十乃洲

○ 艦 船 所 在

○十二月二十三日午前十時調

【横須賀】 口長門、陸奥、ト金剛、山城、榛名

指定ヲ要セス

0719

生駒、朝日、三笠、富士、鳳翔、若宮、磐手、北上、阿蘇、津輕、橋立、滿州、武藏、千早、江澤風、沖風、峯風、矢風、夕風、夕風、太刀風、秋風、灘風、羽風、島風、夕立、白露、夕暮、三日月、春風、初春、初雪、初霜、神風、響、如月、吹雪、有明、追風、疾風、彌生、浦風、夕風、時雨、薄雲、不知火、潜九、潜八、潜一五、潜一四、潜二六、潜二五、潜二七、潜二八、潜二九、潜三八、潜三九、潜四〇、潜四一、潜四二、白鷹、鴻、鴨、松江、筑前丸

【石川島】 草
【横濱】 尻矢
【浦賀】 五十鈴、菱、蓮
【大湊】 伊勢、球磨、多摩、天龍、矢矧、韓崎、扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、平戸、駒橋、千代田、周防、千歳、大和、長月、水無月、菊月、谷風、江風、葵、藤、萩、薄、村雨、朝霧、白雲、朝潮、陽炎、卯月、潜一、潜二、潜三、潜四、潜五、潜六、潜七、潜八、潜九、潜一〇、潜一一、潜一二、潜一三、潜一四、潜一五、潜一六、潜一七、潜一八、潜一九、潜二〇、潜二一、潜二二、潜二三、潜二四、潜二五、潜二六、潜二七、潜二八、潜二九、潜三〇、潜三一、潜三二、潜三三、野島、膠州、劍崎、高崎

【神戶】 加賀、潜三〇、潜三一、潜三二、潜三三、潜四六

【德山】 佐多
【佐世保】 霧島、比叡、日向、長良、龍田、敷島、肥前、常磐、見島、須磨、沖島、最上、楠、桂、梅、楓、榎、檜、檜、柳、竹、楓、梨、椈、榎、栗、梅、榆、松風、白雪、野分、霞、潜二、潜一八、潜四二、潜四三、潜四五、鷲、鶉、雲雀、鵲、蒼鷹、燕、鴿

【長崎】 土佐
【馬公】 利根、橘、櫻、樺、桐、室戸
【新舞鶴】 安藝、薩摩、木曾、大井、鹿島、香取、吾妻、筑摩、勝力、新高、對島、日進、若葉、潮、朝風、子日、海風、山風、檜、榎、時津風、磯風、天津風、浪風、帆風、野風、水七三、水七二、水七四、水七五

【鎮海】 春日、杉、松
【松田灣】 春日
【旅順】 綾波、磯波、浦波
【南洋群島】 淀
【浦鹽】 石見
【亞港】 大泊
【上海】 關東
【南京】 宇治
【漢口】 嵯峨
【長沙】 阿田

海軍公報 第三千七百六十七號 大正十年十二月三十三日

【壹】 昌 伏見
 【貳】 慶 鳥羽
 【参】 ツル 出雲、八雲

【航海中】

野間(十七日吳發「タラカン」へ)
 松山丸(十七日横須賀發南洋へ)
 洲崎(十八日吳發「タラカン」へ)
 泰安丸(十八日「トラツク」發内地へ)
 襟裳(十九日佐世保發「タラカン」へ)
 勞山(二十一日横須賀發吳へ)
 青島(二十一日佐世保發吳へ)
 知床(二十二日佐世保發「タカラン」へ)

○ 雜 款

○赴任期日變更(十二月十二日及同)
 (二十一日本欄參照)
 波蘭國駐在海軍大尉前田稔ノ赴任期日三十一日ヲ「大
 正十一年一月十日門司發」ニ變更ス

○神戸「ベスト」有菌鼠發見報(十二月二十二日)
 (内務省衛生局)

番號	發見 月日	決定 月日	發見方法	發見場所	頭數
二五	十二月十九日	十二月二十日	捕鼠隊	高濱倉庫第六十 三號上屋内	一

二十四號有菌鼠發見場所ハ高濱倉庫五號上屋ノ誤
 累計 兵庫縣 患者 二名
 有菌鼠 二十五頭

(部内限ナシ)

0721

海軍公報

第二千七百六十八號

海軍大臣官房

大正十年十二月二十四日(土)

○辭令

○大正十年十二月二十三日

任海軍書記

金子 安藏

給月俸六拾圓

任海軍書記

白石 俊敬

給八級俸

任海軍書記

佐伯 花二

給八級俸

(各通)

住田 喜作

任海軍技手

給五級俸

大原 丈一

任海軍技手

給五級俸

永田 壽太

任海軍技手

給月俸七拾圓

金子 安藏

(各通)

海軍書記

白石 俊敬

横須賀海軍工廠勤務ヲ命ス

海軍公報 第二千七百六十八號

大正十年十二月二十四日

一一二七

(各通)

海軍書記

佐伯 花二

海軍技手

住田 喜作

同

須山 智

同

大原 丈一

吳海軍工廠勤務ヲ命ス

海軍艦政本部勤務ヲ命ス

海軍技手

永田 壽太

海軍監獄看守ヲ命ス

海軍兵曹長勳七等

一番ヶ瀬 佐八

月俸參拾七圓ヲ給ス

海軍監獄看守

一番ヶ瀬 佐八

佐世保海軍監獄附ヲ命ス(以上註記海軍省)

海軍少佐

安藤 謙次郎

(各通)

海軍軍醫大尉

深田 貫一

第一部勤務ヲ命ス

海軍中佐

鎮 目 靜

第一部兼務ヲ命ス(以上註記海軍教育本部)

海軍書記

金子 安藏

同

白石 俊敬

同

白石 俊敬

同

白石 俊敬

同

白石 俊敬

同

白石 俊敬

○艦船所在

指定ヲ要セス

○十二月二十四日午前十時調

【横須賀】 口長門、陸奥、金剛、山城、榛名、

生駒、朝日、三笠、富士、鳳翔、若宮、磐手、北上、

阿蘇、津輕、橋立、滿州、武藏、千早、澤風、沖風、

峯風、矢風、夕風、夕風、太刀風、秋風、灘風、羽風、

島風、夕立、白露、夕暮、三日月、春風、初春、

初雪、初霜、神風、響、如月、吹雪、有明、追風、

疾風、彌生、浦風、夕風、時雨、薄雲、不知火、

潜九、潜八、潜一五、潜一四、潜二六、潜二五、

潜二七、潜二八、潜二九、潜三八、潜三九、潜四〇、

潜四一、潜四二、白鷹、鴻、鴨、松江、高崎、筑前丸

【石川島】 葦

【横濱】 尻矢

【浦賀】 五十鈴、菱、蓮

【大湊】 區櫻、榊、榎、桑

【吳】 伊勢、球磨、多摩、天龍、矢矧、韓崎、

扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、平戸、駒橋、千代田、周防、

千歳、大和、長月、水無月、菊月、谷風、江風、

葵、藤、萩、薄、葛、村雨、朝霧、白雲、朝潮、陽炎、

卯月、潜一、潜一〇、潜一二、潜一三、

潜一六、潜一七、潜二三、潜二〇、潜一九、

潜二二、潜二四、潜三四、潜三五、潜三六、潜三七、

潜四四、水六七、水六八、水七〇、水七一、能登呂、

野島、膠州、劍崎、青島

【大阪】 藤、鶴見

【神戸】 加賀、潜三〇、潜三一、潜三二、潜三三、

潜四六 霧島、比叡、日向、長良、龍田、敷島、

肥前、常磐、見島、須磨、沖島、最上、楠、桂、

梅、楓、櫻、檜、檜、桃、柳、竹、榎、梨、

樺、柿、栗、榎、榆、松風、白雪、

野分、笹、潜二一、潜一八、潜四二、潜四三、

潜四五、鷲、鶴、雲雀、鵠、雁、蒼鷹、燕、鶴、佐多

【長崎】 土佐

【馬公】 利根、橋、櫻、榊、桐、室戸

【新舞鶴】 口安藝、薩摩、木曾、大井、鹿島、

香取、吾妻、筑摩、勝力、新高、對島、日進、

若葉、潮、朝風、子日、海風、山風、榴、榎、時津風、

磯風、天津風、濱風、帆風、野風、水七三、水七二、

水七四、水七五

【鎮海】 區柏、榊、杉、松

【元山】 春日

【旅順】 區綾波、磯波、浦波

【南洋群島】 淀

【浦鹽】 區石見

【上海】 區關東

【南京】 區明石

【漢口】 區宇治

【長沙】 區嵯峨

【宜昌】 區四田

伏見

0723

【重慶】鳥羽

【航海中】

野間(十七日吳發「タラカン」へ)
 松山丸(十七日横須賀發南洋へ)
 洲崎(十八日吳發「タラカン」へ)
 泰安丸(十八日「トラツク」發内地へ)
 襟裳(十九日佐世保發「タラカン」へ)
 勞山(二十一日横須賀發吳へ)
 知床(二十二日佐世保發「タカラ」へ)
 出雲、八雲(二十二日「アール」發「ジブラルター」へ)
 大泊(二十三日亞港發泥港へ)

○雜款

○特務艦知床行動豫定中變更(十月二十五日本欄参照)

地名 著 發
 タラカン 十二月三十一日 一月三日
 吳 一月十五日

○外國出張

英國へ出張ヲ命セラレタル造兵監督官海軍大尉八島俊一ハ來ル一月六日横濱出港ノ三島丸ニテ出發ノ豫定

○艤裝員出發

神威艤裝員左記八名來ル一月十三日午後零時三十五分汽車ニテ東京驛發同日午後三時横濱出港ノ鹿島丸ニテ本邦出發ノ豫定

海軍大佐 村瀬貞次郎
 海軍機關中佐 大熊靜雄
 海軍機關少佐 淺古德助
 海軍少佐 後藤輝道
 海軍大尉 福留繁
 海軍機關中尉 日高爲範
 海軍特務少尉 町田重次郎
 海軍機關特務少尉 天春正吉

○事務所

名古屋駐在造兵監督官事務所ヲ本月十三日左記ノ處ニ移轉セリ

名古屋市中區東川端町九丁目一番地
 愛知時計電機株式會社構内
 海軍艦政本部

○正誤

昨二十三日令達欄官房第四二七二號附記中大正十年ハ大正十一年ノ

海軍公報 第三千七百六十八號 大正十年十二月二十四日 (部内限一頁) 一一一九

海軍公報

第二千七百六十九號

海軍大臣官房

大正十年十二月十六日

○通牒

官房第四二八四號

大正十年十二月二十六日

海軍省副官代理

海軍大佐 今村信次郎

艦隊、鎮守府、要港部參謀長(參謀)殿

汽船「トロール」漁業許可ノ件

本件ニ關シ左記ノ通農商務省水産局ヨリ通知アリタリ
右通牒ス

記

船名	氏名又ハ名稱	住所	許可番號	漁獲物陸揚港	操業區域	許可期間	制限又ハ條件	許可年月日
第一東洋丸	東洋捕鯨株式會社	大阪市西區川口町十四番地	第七號	下關、長崎、博多	東海及黃海	許可ノ日ヨリ 五箇年	一、朝鮮總督府及臺灣總督府令ノ定メタル「トロール」漁業ノ禁止區域ハ之ヲ遵守ス 二、「トロール」漁業監視ノ乘組ヲ命シタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ	大正十年十二月十五日
播州丸	中部幾次郎	山口縣下關市竹崎町六十六番地	第三十五號	下關、長崎	同上	許可ノ日ヨリ 拾箇年	同上	大正十年十二月二十日
第二播州丸	同上	同上	第三十六號	同上	同上	同上	同上	同上

○辭令

頁五拾圓

遞信書記官 三宅 彌馬

海軍公報 第二千七百六十九號

大正十年十二月二十六日

0725

七拾四 遞信書記官 香西 俊雄
 五拾四 遞信屬 小川 良之輔
 同 山田 耕二
 海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金(各頭誓ノ通)ヲ贈
 與ス(註明ニ海軍省)

○艦船所在

△印△ハ△カ△フ
指定ヲ要セズ

○十二月二十六日午前十時調

【横須賀】 口長門△、陸奥△、ト金剛△、山城、榛名、
 生駒、朝日、三笠、富士、鳳翔、若宮、磐手、北上△、
 阿蘇、津輕、橋立、滿州、武藏、千早、ト澤風、沖風△、
 峯風、矢風、ト夕風、夕風、太刀風、ト秋風、灘風、羽風、
 島風、ト夕立、白露、夕暮、三日月、ト春風、初春、
 初雪、ト初霜、神風、響、如月、吹雪、有明、ト追風、
 疾風、彌生、浦風、夕風△、時雨、薄雲、不知火、
 潜九、潜八、潜一五、潜一四、潜二六、潜二五、
 潜二七、潜二八、潜二九、潜三八、潜三九、潜四〇、
 潜四一、口雄 白鷹、鴻、鷗、松江、高崎、筑前丸

【石川島】 皇
 【横濱】 尻矢
 【浦賀】 五十鈴、菱、蓮
 【大湊】 口樺、樺、楨、桑
 【吳】 伊勢、球磨、多摩、ト天龍、ト矢矧、韓崎、

扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、平戸、駒橋、千代田、周防、
 千歳、天和、ト長月、水無月、菊月、ト菊谷風、江風、
 葵、ト藤、萩、薄、葛、村雨、朝霧、白雲、朝潮、陽炎、
 卯月、巖、ト潜一、潜一〇、潜二二、ト潜一三△、
 潜一六△、潜一七△、ト潜二三△、潜二〇、潜一九、
 潜二二、潜二四、潜三四、ト潜三五、潜三六、潜三七、
 潜四四、水六七、水六八、水七〇、水七一、能登呂△、
 野島△、膠州△、劍埼、青島、勞山

【大阪】 鶴見

【神戶】 加賀、潜三〇、潜三一、潜三二、潜三三、
潜四六

【佐世保】 霧島、比叡、日向△、長良、龍田△、敷島、
肥前、常磐△、見島、須磨、沖島、最上、口楠△、桂△、
梅△、根△、口櫻、檜、桃、柳、口竹△、樞△、梨△、
樞△、口梯△、栗△、梅△、榆△、口松風、白雪、
野分、霞、潜三二、潜一八、潜四二、潜四三、
潜四五、口鷲、鶉、雲雀、鶴、雁、蒼鷹、燕、鶴、佐多

【長崎】 土佐

【馬公】 口橋、櫻、樺、桐、室戸

【新舞鶴】 口安藝、薩摩△、ト木曾△、大井△、鹿島、
香取、吾妻△、筑摩、勝力△、新高△、對馬△、日進、
口若葉、潮、朝風、子日、口海風、山風、檜、板、口時津風、
磯風、天津風、濱風、野風、口水七三、水七二、水七四、
水七五

【鎮海】 口柏、柳、杉、松

【旅順】 区綾波、磯波、浦波
 【南洋群島】 淀
 【浦鹽】 石見
 【上海】 關東
 【南京】 明石
 【漢口】 宇治
 【長沙】 嵯峨
 【宜昌】 隅田
 【重慶】 伏見
 鳥羽

【航海中】

野間(十七日吳發「タラカン」へ)
 松山丸(十七日横須賀發南洋へ)
 洲崎(十八日吳發「タラカン」へ)
 泰安丸(十八日「トラツク」發内地へ)
 襟裳(十九日佐世保發「タラカン」へ)
 知床(二十二日佐世保發「タカラン」へ)
 出雲、八雲(二十二日「アトツル」發「ジブラルター」へ)
 大泊(二十三日那港發泥港へ)
 帆風(二十四日舞鶴發横須賀へ)
 春日(二十五日元山發鎮海へ)
 利根(二十五日馬公發佐世保へ)

○ 雜 款

○司令潜水艦指定
 第十六潜水隊司令ハ本月二十日司令潜水艦ヲ第三十五潜水艦ニ指定セリ

○郵便物發送先
 特務艦高崎宛

一月 六 日迄到著見込ノモノハ 横須賀
 同 十一日迄 同 吳
 同 十六日迄 同 佐世保
 同 二十四日迄 同 旅順
 同 三十日迄 同 佐世保
 二月 四 日迄 同 吳
 其ノ後ハ 横須賀

○特務艦勞山行動豫定中變更(本月十三日)
 地 名 著 發
 吳 佐世保 十二月二十九日 十二月二十八日

○赴任出發延期(本月二十日)
 獨國駐在仰付ラレタル海軍軍醫中佐伏島忠雄ハ出發期日ヲ大正十一年一月七日ニ變更セリ

○官舎居住

麹町區霞關二ノ一官舎

海軍省副官兼海軍大臣秘書官

(電話銀座 三三七四番) 海軍中佐 松下 元

麹町區霞關二ノ一官舎

海軍省副官

(電話銀座 二二七二番) 海軍中佐 坂野 常善

(部内限二頁)

0728

海軍公報

第二千七百七十號

大正十年十二月二十七日(火)

海軍大臣官房

○令達

官房第四三二四號

大正十年十二月二十七日

臨時海軍大臣事務管理

内閣總理大臣子爵 高橋 是清

在京各廳長殿

歳末御祝詞ノ件

判任官同待遇ニシテ位勳ヲ有セサル者ノ歳末御祝詞ハ各廳ニ於テ相受ケ其ノ旨報告スヘシ
右通達ス

○通牒

經給第一〇四號

今般達第二百二十三號ヲ以テ勤勉手當支給規則發布セラレ候處工作廳(兵器庫需品庫ヲ除ク)燃料廠及建築部ニ於ケル業務其ノ他ノ各廳ニ於ケル當該現業ニ直接關係スル業務ハ之ヲ現業ト見做シ勤勉手當ヲ支給シ差支

ヘナキ儀ト御承知相成度
右通牒ス

追テ右規則發布ノ結果左記決裁等ハ消滅ニ歸シ候

大正十年十二月二十七日

海軍省經理局長 志 佐 勝

記

一 大正九年官房第四三八六號次官通牒

海軍省辦法規類集
中巻 二七三頁

一 大正八年經給第七四號經理局第二課

長通牒 同 二七六頁

一 大正八年經給第七七號經理局第二課

長回答 同 二七九頁

一 大正六年經給第三六號經理局回答

同 二七九頁

一 大正八年官房第一六二六號決裁

同 二八一頁

一 大正九年經給第四三號經理局回答

同 二八二頁

一 大正九年經政會第六四四號ノ二經理局長
回答 同 二八二頁

○辭令

經政會

海軍公報 第二千七百七十號

大正十年十二月二十七日

一一二五

0729

○大正十年十二月二十七日

任海軍技手 杉山 明
給四級俸

任海軍書記生 海軍屬勳八等 吉川 直吉
給六級俸

吳海軍工廠勤務ヲ命ス 海軍技手 杉山 明
海軍書記生 吉川 直吉

臨時南洋群島防備隊附ヲ命ス(以上註海軍省)

第二課附ヲ免シ第一課附ヲ命ス(註海軍省人事局)
海軍屬 水谷 誠太郎

第四部勤務ヲ命ス(註海軍艦政本部)
海軍技手 本池 信成

第五部附ヲ命ス 海軍技手 副島 序吉

第四部附ヲ命ス(以上註海軍艦政本部)
海軍書記 金子 壽彦

第四部勤務ヲ命ス(註海軍艦政本部)
海軍技手 永田 壽太

○艦船所在

△印ハハカセテ
指定ヲ要セス

○十二月二十七日午前十時調

【横須賀】 口長門△、陸奥△、△金剛△、山城、榛名、

生駒、朝日、三笠、富士、鳳翔、若宮、磐手、北上△、

阿蘇、津輕、橋立、滿州、武藏、千早、△澤風、沖風△、

峯風、矢風、△夕風、夕風、太刀風、△秋風、灘風、羽風、

島風、△夕立、白露、夕暮、三日月、△春風、初春、

初雪、△初霜、神風、響、如月、吹雪、有明、△追風、

疾風、彌生、浦風、夕風△、時雨、薄雲、不知火、

△潜九、△潜八、△潜一五、△潜一四、△潜二六、△潜二五、

△潜二七、△潜二八、△潜二九、△潜三八、△潜三九、△潜四〇、

△潜四一、△雄、白鷹、鴻、鷗、松江、高崎

【石川島】 重
尻矢

【浦賀】 五十鈴、菱、蓮
賀 区櫻、椿、楨、桑

【大】 伊勢、球磨、多摩、△天龍、△矢矧、韓崎、

扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、平戸、駒橋、千代田、周防、

千歲、大和、△長月、水無月、菊月、△菊、谷風、江風、

葵、△藤、萩、薄、葛、村雨、朝霧、白雲、朝潮、陽炎、

卯月、△、△潜一七△、△潜二〇、△潜二二、△潜一三△、
△潜一六△、△潜一七△、△潜二二、△潜二〇、△潜一九、
△潜二二、△潜二四、△潜三五、△潜三四、△潜三六、△潜三七、
△潜四四、水六七、水六八、水七〇、水七一、能登呂△、
野島△、膠州△、劍崎、勞山

【神】 加賀、△潜三〇、△潜三一、△潜三二、△潜三三、

【大】 鶴見

【阪】

【神】

0730

【重慶】 鳥羽

【航海中】

野間(十七日吳發「タラカン」へ)
 松山丸(十七日横須賀發南洋へ)
 洲崎(十八日吳發「タラカン」へ)
 泰安丸(十八日「トラック」發内地へ)
 襟裳(十九日佐世保發「タラカン」へ)
 知床(二十二日佐世保發「タカラン」へ)
 出雲、八雲(二十二日「アール」發「ジブラルター」へ)
 帆風(二十四日舞鶴發横須賀へ)
 利根(二十五日馬公發佐世保へ)
 筑前丸(二十五日横須賀發南洋へ)
 青島(二十六日吳發横須賀へ)

○雜款

○總代
 來ル三十一日午後二時大破ノ儀被爲行候ニ付勅、奏、判
 任官總代トシテ同日賢所參集所へ參列スヘキ旨左記諸
 官へ通達セラレタリ
 勅任官總代 海軍少將 金田 秀太郎
 奏任官總代 海軍大佐 左近司 政三
 判任官總代 海軍屬 吉田 鎌三郎

【佐世保】

霧島、比叡、日向、長良、龍田、敷島、肥前、常磐、見島、須磨、沖島、最上、楠、桂、梅、楓、櫻、檜、檜、桃、柳、竹、榎、梨、榎、榎、栗、梅、榆、松風、白雪、野分、霞、葦、潜二、潜一八、潜四二、潜四三、潜四五、鷲、雲雀、鶴、雁、蒼鷹、燕、鶴、佐多

【長崎】

土佐

【馬公】

口橘、櫻、樺、桐、室戸
 【新舞鶴】口安藝、薩摩、木曾、大井、鹿島、香取、吾妻、筑摩、勝力、新高、對島、日進、若葉、潮、朝風、子日、海風、山風、檜、榎、時津風、磯風、天津風、濱風、野風、水七三、水七二、水七四、水七五

【鎮海】

春日、柏、榊、杉、松
 口綾波、磯波、浦波

【旅順】

淀

【南洋群島】

石見

【浦鹽】

大泊

【亞港】

關東

【上海】

明石

【南京】

宇治

【漢口】

嵯峨

【長沙】

隅田

【宜昌】

伏見

○外國出張
歐米各國へ出張ヲ命セラレタル海軍少佐熊岡讓、海軍機關少佐廣瀬昔一ハ來ル一月十三日午後零時三十分東京驛發同日横濱出港ノ鹿島丸ニテ米國ニ向ケ出發ノ豫定

○赴任
英國駐在仰付ラレタル海軍大尉徳永榮ハ來ル一月十日神戸出港ノ三島丸ニテ赴任ノ豫定

○改姓
海軍少尉田村次郎ハ京都府平民大林家へ入籍ノ旨十二月一日届出テタリ

○電話及宿所變更

海軍艦政本部總務部第二課長

電話芝五〇七〇番

海軍大佐 村越 八郎

麻布區本村町一四五

海軍大將正三位勳一等功二級男爵三須宗太郎本月二十四日薨去、來ル二十七日午後一時ヨリ同三時迄自宅(府下代々幡村字代々木山谷二八三番地)ニ於テ佛式ヲ以テ告別式執行

(部内限一頁)

0732

海軍公報

第二千七百七十一號

海軍大臣官房

大正十年十二月二十八日(水)

○通牒

官房第四三三七號

大正十年十二月二十八日

海軍省官報報告主任

關係各廳長殿

官報原稿ニ關スル件

本件ニ關シ別紙ノ通印刷局官報部編輯課ヨリ照會越シ
候條購買入札等ノ保證金ハ「圓未滿切上ク」ノコトニ
一定致度又追書ニ關シテハ左記文例ノ通大體一定致度
候條明十一年一月ヨリ送付ノ分ハ右ニ依リ調製相成様
致度
右申進ス

追テ左記文例ノ外拂下入札等モ本文例ニ依リ調製相
成様致度

記

(文例)

購買入札

海軍公報 第二千七百七十一號

大正十年十二月二十八日

二二二九

納期

(圓未滿切上ク)
(圓未滿切上ク)

品名
入札並開札
入札場所
公示書類
入札保證金
契約保證金
入札者資格
契約擔任官

大正 年 月 日

廳 名

(文例)

工事請負入札

品名
竣工期限
現場説明日時
入札並開札
入札場所
公示書類
入札保證金
契約保證金
入札者資格

(圓未滿切上ク)
(圓未滿切上ク)

0733

一 契約擔任官

大正 年 月 日 廳 名

別紙

官報ニ掲載スル各艦購買入札中保證金圓未滿切上ノ文
例從來區々ニ相成居候ニ付明年一月ヨリ(圓未滿切上
ク)トシ掲載可致候間御了知相成度

追テ大體ノ文例ニ付ラモ成ルヘク一定致度ニ付御詮
議相成度尙御所管ノ向ヘ御通報相煩度候

○ 辭 令

海軍少佐 野 田 清

恩賜研學資金受賞者詮衡委員ヲ命ス

海軍技手 副島 序吉

英國へ出張ヲ命ス(以上皆海軍省)

○ 艦 船 所 在

△印△ハカフ
指定ヲ要セス

○十二月二十八日午前十時調

【横須賀】 口長門△、陸奥△、△金剛△、山城、榛名、

生駒、朝日、三笠、富士、鳳翔、若宮、磐手、北上△、

阿蘇、津輕、橋立、滿州、武藏、千早、△澤風、沖風△、

峯風、矢風、△汐風、夕風、太刀風、△秋風、灘風、羽風、

島風、△夕立、白露、夕暮、三月月、△春風、初春、

初雪、△初霜、神風、響、如月、吹雪、有明、△追風、

疾風、彌生、浦風、夕風△、時雨、薄雲、不知火、

△潜九、△潜八、△潜一五、△潜一四、△潜二六、△潜二五、

△潜二七、△潜二八、△潜二九、△潜三八、△潜三九、△潜四〇、

△潜四一、△雄、白鷹、鴻、鷗、松江、高崎

【石川島】 隼

【横濱】 尻矢

【浦賀】 五十鈴、菱、蓮

【大湊】 △櫻、椿、楨、桑

【吳】 △伊勢、球磨、多摩、△天龍、△矢矧、韓崎、

扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、平戸、駒橋、千代田、周防、

千歲、大和、△長月、水無月、菊月、△菊、谷風、江風、

葵、△藤、萩、薄、葛、村雨、朝霧、白雲、朝潮、陽炎、

卯月、藤、△潜一、△潜一〇、△潜一一、△潜一二、△潜一三、

△潜一六、△潜一七、△潜二〇、△潜二一、△潜二二、△潜二九、

△潜二二、△潜二四、△潜三五、△潜三四、△潜三六、△潜三七、

△潜四四、水六七、水六八、水七〇、水七一、能登呂△、

野島△、膠州、劍埼

【大阪】 鶴見

【神戶】 加賀、△潜三〇、△潜三一、△潜三二、△潜三三、

△潜四六

【佐世保】 霧島、比叡、日向△、長良、龍田△、敷島、

肥前、常磐△、見島、須磨、沖島、最上、△楠△、桂△、

梅△、根△、△櫻、檜、桃、柳、△竹△、榎△、梨△、

樅△、△榊△、栗△、梅△、榆△、△松風、白雪、

0734

野分、霞、葦、口潜二、潜八、口潜四二、潜四三、
 潜四五、口驚、鶉、雲雀、鵲、雁、蒼鷹、燕、鶴、佐多

【長崎】 土佐

【馬公】 口橋、櫻、樺、桐、室戸

【新舞鶴】 口安藝、薩摩、口木曾、大井、鹿島、
 香取、吾妻、筑摩、勝力、新高、對馬、日進、

口若葉、潮、朝風、子日、口海風、山風、檜、榎、口時津風、
 磯風、天津風、濱風、野風、口水七三、水七二、水七四、
 水七五

【鎮海】 春日、口柏、榊、杉、松

【旅順】 口綾波、磯波、浦波

【南洋群島】 淀

【浦鹽】 口石見

【上海】 關東

【南京】 口明石

【漢口】 宇治

【長沙】 船峨

【宜昌】 隔田

【重慶】 伏見

鳥羽

【航海中】

野間(十七日吳發「タラカン」へ)
 松山丸(十七日横須賀發南洋へ)

洲崎(十八日吳發「タラカン」へ)
 泰安丸(十八日「トラツク」發内地へ)
 襟裳(十九日佐世保發「タラカン」へ)
 知床(二十二日佐世保發「タカラン」へ)
 口出雲、八雲(二十二日「アソツル」發「ジブラルター」
 へ)

帆風(二十四日舞鶴發横須賀へ)
 利根(二十五日馬公發佐世保へ)
 筑前丸(二十五日横須賀發南洋へ)
 青島(二十六日吳發横須賀へ)
 勞山(二十七日吳發佐世保へ)
 大泊(二十七日亞港發小樽へ)

○雜款

○南洋交通船泰安丸第五回ノ寄港地(南洋西廻)左ノ
 通(十二月十九日日本欄參照)
 門司、バラオ、ヤツブ、横濱

横須賀海軍港務部

○赴任

獨國駐在仰付ラレタル海軍中佐小楨和輔ハ來ル一月十

海軍公報 第千七百七十一號 大正十年十二月二十八日

二三三

0735

日神戸出港ノ三島丸ニテ印度洋經由赴任ノ豫定

○外國出張

瑞西國へ出張ヲ命セラレタル海軍機關少佐葛良修ハ來ル一月八日神戸出港ノ吉野丸ニテ出發ノ豫定

歐米各國へ出張ヲ命セラレタル海軍少佐岡田義一ハ來ル一月十日神戸出港ノ三島丸ニテ出發ノ豫定

○電報略語

智利國在勤帝國公使館附武官宛電報略語左ノ通在サンチアゴ英米電信會社ニ登記濟ノ旨十一月五日附報告アリタリ

Kaigun Santiago Chile

注意 玖瑪ノ「サンチアゴ」ト誤ル虞アルニ付 Santiago ノ次ニ Chile ト特記スルヲ要ス

○電話

海軍軍令部參謀

芝四三七三

海軍少將 小 牧 自然

赤城區青山高樹町十二、四

○神戸「ベスト」有菌鼠發見報(十二月二十七日 内務省衛生局)

番號	發見月日	決定月日	發見方法	發見場所	頭數
二六	十二月二十二日	十二月二十五日	捕鼠隊	高濱倉庫六號上屋內	一

累計 兵庫縣 患者 二名 有菌鼠 二十六頭

○正誤

本月二十一日通牒欄盤本第九九一八號左記大阪地方中十七、ノ下關西製鋼株式會社ハ關西製網株式會社ノ誤

(部内限二頁)

大正十年採用海軍生徒年齢別員数調

計	理學校	關學校	學學校	學校別	
				採用員數	採用員數
四〇九	三〇	一〇八	二七三	員數	十七年迄ノ者
四	二	八	三四	員數	十八年迄ノ者
二	七	八	三	對各校採用 數百分比	十九年迄ノ者
二五	七	三二	八七	員數	二十年迄ノ者
三	三	二九	三	對各校採用 數百分比	二十一年迄ノ者
一五四	七	三五	一三	員數	二十二年迄ノ者
三八	三	三	四	對各校採用 數百分比	
八〇	九	三二	四〇	員數	
二〇	三〇	二九	一五	對各校採用 數百分比	
五	五	一	一	員數	
一	一七	一	一	對各校採用 數百分比	
一		(部内)		員數	
				對各校採用 數百分比	

0737

大正十年海軍生徒志願者出身學校別一覽

學校種別	志願者數		身體検査		學術試験		採用				志願者對採用者百分比
	者數	不參加	不合格	合格	不參加	不合格	兵學校	機關學校	經理學校	計	
官公立中學校	三,三〇	一,〇九五	五六一	一,〇四九	六〇	四〇二	三三	九二	二四	三四八	一一,二
私立中學校	八二	二五四	二六	三三	一七	二五	三六	二	五	五五	六,六九
申學校以外 官公立諸學校	九	三	一八	四	三	三〇	一	一	一	一	一,〇五
中學校以外 私立諸學校	一八七	五	三	三	七	五〇	一	一	一	一	〇,五三
家庭	三三八	八二	六五	九二	一三	五五	二	一	一	四	一,六八
計	四,四七二	一,五二四	九一八	二,〇三九	九九	六六一	一三三	一〇六	三〇	四〇九	九,二四

0738

大正十年採用海軍生徒出身各學校學業成績調

考 備	計	經理 學校	機 關 學 校	兵 學 校	學 校 別	
					採 用	別
A 百人中席次 一番ヨリ 五番迄ノ者	四〇九	三〇	一〇六	二五	員數	採用
	七三	六	一五	五三	員數	A
B 六番ヨリ 一五番迄ノ者	一八	二〇	一四	一九	對各 校採 用比 數	
	九	九	二九	六	員數	B
C 二六番ヨリ 五〇番迄ノ者	二四	三〇	二七	三	對各 校採 用比 數	
	六	六	二五	四五	員數	C
D 二六番ヨリ 五〇番迄ノ者	一六	二〇	一四	一六	對各 校採 用比 數	
	九六	五	二六	六五	員數	D
E 五〇番ヨリ 一〇〇番迄ノ者	二二	二七	二五	二四	對各 校採 用比 數	
	五四	三	八	四	員數	E
	一三	一〇	八	一六	對各 校採 用比 數	
	一一	一	三	七	員數	順位不 明(獨 學)
	三	三	三	三	對各 校採 用比 數	

0739

